

## 日米合意に違反する米軍パラシュート降下訓練に嚴重抗議する意見書

令和8年3月28日及び29日、県、基地周辺自治体及び議会が再三にわたり中止を求める中、米軍は嘉手納飛行場において、米軍ヘリからのパラシュート降下訓練を強行した。降下回数は2日間で8回、総数は約130人の兵員が降下した。

今回の訓練は、今年2回目、令和5年12月から数えて21回目となり降下兵員総数は700人を超える。当議会はこの間、14回にわたり全会一致で意見書・抗議決議を可決してきたが、訓練は繰り返され、強い憤りを禁じ得ない。

今回の訓練について、小泉防衛大臣は4月10日の記者会見において今回の訓練が例外的な場合に該当するとしながら、米軍の示す例外的事情を明らかにしていない。米軍のパラシュート降下訓練は断じて認められない。

パラシュート降下訓練については、日米合意に基づき伊江島補助飛行場で行うことが原則である。例外的な場合に嘉手納飛行場で実施が認められるとし、米軍は伊江島補助飛行場滑走路修復工事が未了であること、伊江島の気象や海象の状況を理由に挙げた。しかし、今回は何も示されていない。まさになし崩し的に常態化させようとしている。

嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練を強行することは、日米安全保障協議委員会の共同発表で確認された「嘉手納基地における負担軽減」にも逆行しており、さらにこの運用に関して日本政府が「例外的な場合に該当する」として追認することは断じて認められず町民の怒りは頂点に達している。

嘉手納飛行場は住民居住地に極めて近接し、操縦ミスや突風に煽られ住民居住地に着陸及び部品等が落下すれば人命に関わる重大な事故につながることは誰の目にも明らかである。

嘉手納飛行場においては常駐機・外来機が入り混じり、早朝から轟音を立てながら断続的に離発着等の飛行訓練が繰り返され、パパールプ地区等では昼夜を問わずエンジン調整や訓練が行われる中でのパラシュート降下訓練は、基地周辺住民にさらなる過重な基地負担を強いるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、日米合意に違反する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に対し嚴重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実施を強く要求する。

### 記

- 1 嘉手納基地における米軍パラシュート降下訓練を全面禁止すること。
- 2 日本政府は、米軍の示す「例外的措置」を追認しないこと。
- 3 平成19年に日米合同委員会で合意された「例外的措置」を撤廃すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年4月16日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 (沖縄基地負担軽減担当)

沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使 (沖縄担当) 沖縄防衛局長 沖縄県知事

## 日米合意に違反する米軍パラシュート降下訓練に嚴重抗議する決議

令和8年3月28日及び29日、県、基地周辺自治体及び議会が再三にわたり中止を求める中、米軍は嘉手納飛行場において、米軍ヘリからのパラシュート降下訓練を強行した。降下回数は2日間で8回、総数は約130人の兵員が降下した。

今回の訓練は、今年2回目、令和5年12月から数えて21回目となり降下兵員総数は700人を超える。当議会はこの間、14回にわたり全会一致で意見書・抗議決議を可決してきたが、訓練は繰り返され、強い憤りを禁じ得ない。

今回の訓練について、小泉防衛大臣は4月10日の記者会見において今回の訓練が例外的な場合に該当するとしながら、米軍の示す例外的事情を明らかにしていない。米軍のパラシュート降下訓練は断じて認められない。

パラシュート降下訓練については、日米合意に基づき伊江島補助飛行場で行うことが原則である。例外的な場合に嘉手納飛行場で実施が認められるとし、米軍は伊江島補助飛行場滑走路修復工事が未了であること、伊江島の気象や海象の状況を理由に挙げた。しかし、今回は何も示されていない。まさになし崩し的に常態化させようとしている。

嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練を強行することは、日米安全保障協議委員会の共同発表で確認された「嘉手納基地における負担軽減」にも逆行しており、さらにこの運用に関して日本政府が「例外的な場合に該当する」として追認することは断じて認められず町民の怒りは頂点に達している。

嘉手納飛行場は住民居住地に極めて近接し、操縦ミスや突風に煽られ住民居住地に着陸及び部品等が落下すれば人命に関わる重大な事故につながることは誰の目にも明らかである。

嘉手納飛行場においては常駐機・外来機が入り混じり、早朝から轟音を立てながら断続的に離発着等の飛行訓練が繰り返され、パパーループ地区等では昼夜を問わずエンジン調整や訓練が行われる中でのパラシュート降下訓練は、基地周辺住民にさらなる過重な基地負担を強いるものである。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、日米合意に違反する嘉手納基地での米軍パラシュート降下訓練に対し嚴重に抗議するとともに、下記事項の速やかな実施を強く要求する。

### 記

- 1 嘉手納基地における米軍パラシュート降下訓練を全面禁止すること。
- 2 平成19年に日米合同委員会で合意された「例外的措置」を撤廃すること。

以上、決議する。

令和8年4月16日  
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 太平洋空軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長